

# 会 議 録

(1 / 7)

|                     |                                                                                                                          |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議の名称               | 第2回坂戸市行政改革推進審議会                                                                                                          |
| 開催日時                | 平成28年10月13日(木)<br>午後1時30分 開会 ・ 午後3時30分 閉会                                                                                |
| 開催場所                | 301・302会議室                                                                                                               |
| 議長(会長)の<br>氏名       | 飯田 康夫会長                                                                                                                  |
| 出席者(委員)の<br>氏名・出席者数 | 大澤雄一委員、桑原秀恵委員、野口達雄委員、原田正明委員、<br>大水善寛委員、杉山成二委員、村田千鶴委員、鹿山辰雄委員 9<br>名                                                       |
| 欠席者(委員)の<br>氏名・欠席者数 | なし                                                                                                                       |
| 事務局職員の<br>職・氏名      | 太田正一総合政策部長、清水満夫総合政策部次長兼政策企画課<br>長、福島洋次政策企画課副課長、新井彪総合政策部企画調整担当、<br>山崎憲次郎係長、徳永旭彦主任                                         |
| 会議次第                | 1 開 会<br>会議の公開<br>傍聴の許可及び傍聴人(なし)の報告<br>2 挨拶 飯田会長<br>3 審議事項<br>(1) 第5次坂戸市行政改革大綱・行政改革後期アクションプラン(案)について<br>(2) その他<br>4 閉 会 |
| 配付資料                | 次第<br>資料1 坂戸市行政改革大綱・行政改革後期アクションプラン<br>(素案)(平成29年度～平成33年度)<br>資料2 第6次坂戸市総合振興計画 基本構想・後期基本計画<br>(案)                         |

| 議 事 の 経 過 |                                                                                                                                                                                                 |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発 言 者     | 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項                                                                                                                                                                         |
| 事務局       | <p>1 開会</p> <p>只今から第2回坂戸市行政改革推進審議会を開会します。</p> <p>現在の出席者9名、欠席者0名です。従いまして坂戸市行政改革推進審議会条例第6条第2項の規定により定足数に達しているので、本会議は成立した事を報告します。</p> <p>また、本会議は公開とさせていただきますので、ご了承ください。</p> <p>飯田会長から挨拶を申し上げます。</p> |
| 会 長       | <p>2 挨拶</p> <p>本日は忙しいなかお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>前回会議では活発なご意見をいただき感謝いたします。本日は事務局からの案をもとに、委員皆さまの多様な立場からの多様な意見をいただき、行政改革の推進に役立て行きたいと思います。</p> <p>市民目線を踏まえて、市民サービスの向上の観点から多様な意見をお伺いしたい。</p>       |
| 会 長       | <p>審議事項の前に、本日の会議における傍聴希望者はございませんので、報告させていただきます。</p> <p>3 審議事項(1)「第5次行政改革大綱・行政改革後期アクションプラン(案)について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。</p>                                                                    |
| 事務局       | <p>資料に基づき「行政改革アクションプラン取組項目における平成27年度取組状況及び平成28年度目標について」について説明</p> <p>委員からの意見、質疑は次のとおり</p>                                                                                                       |
| 会 長       | <p>始めに1ページから6ページまでについて、質疑・意見があれば、お願いしたい。</p>                                                                                                                                                    |
| 委 員       | <p>1 P II 1 人口減少社会「坂戸市人口ビジョン」における平成22年の起点となる人口の人数を明記すべきである。同表についても同じ。</p> <p>2 P 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、平成28年3月と明記すべきである。</p> <p>4 P 3 財政状況(1)歳入の文章中「県下40市中下位2位となっており、」として次の文章に続けたほうがよい。</p>    |
| 委 員       | <p>6 P 4 地方行政改革の動向の中で平成27年8月28日付の通知の表題の記載となっているが、巻末等に資料として掲載したほうが内容を理解できるのではないかと思う。</p>                                                                                                         |
| 会 長       | <p>I の表題を「後期アクションプラン」の前に「第5次行政改革大綱・行政改革」を付け加えたほうがよい。</p>                                                                                                                                        |

|     |                                                                                                                                                                          |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委 員 | 3 P 2 公共施設の老朽化の中で、「具体的には、」以降の文章について、これから問題となっていくのは、少子高齢化の問題であるため、④について、「少子高齢化に伴う」などと表現を加筆したほうがよいのではないか。③について、施設の複合化と表現されているが、施設の再利用化と明記したほうがよいのではないか。                    |
| 委 員 | 2 公共施設の老朽化での文章は、「公共施設等マネジメント計画」の内容を記載しているものではないのか。整合性が合うのか。                                                                                                              |
| 事務局 | 「具体的には、」①～⑥については、公共施設等マネジメント計画からの抜粋となるため、後段部分で趣旨を取り入れてまいりたい。                                                                                                             |
| 委 員 | 分かりづらい用語は、注釈を下段に入れていただくと見やすい。                                                                                                                                            |
| 事務局 | 用語集として巻末にまとめるか、下段に記載するか検討する。                                                                                                                                             |
| 会 長 | P 3 「30年間」の起点を明記していただきたい。                                                                                                                                                |
| 委 員 | P 5 「経常収支比率」と「将来負担比率」とは、どのようなものなのか。                                                                                                                                      |
| 事務局 | 注釈に加えさせていただく。                                                                                                                                                            |
| 会 長 | P 5 の5年間の比較後の支出増の数値が出ているが、年度ごとの支出額の表記をし、市民に分かりやすくすべきである。                                                                                                                 |
| 会 長 | 次に7ページから11ページまでについて、質疑・意見があれば、お願いしたい。                                                                                                                                    |
| 委 員 | 8 P 協働の定義であるが、出典先の確認をすべきである。                                                                                                                                             |
| 会 長 | 協働の表現の中で、「市民」と「市」の並べ方の表現で統一してほうがよい。                                                                                                                                      |
| 委 員 | 7 P Ⅲの表現であるが、策定当時の表現であるため、現時点での字句に修正したほうがよい。<br>後期アクションプランの策定においては、9 P での「基本方針」と「基本方針実現のための主な改革項目」を捉えたアクションプランの設定として考えてよいのか。<br>11 P 矢印の網掛けは、後期アクションプランの矢印を網掛けにすべきでないのか。 |
| 事務局 | 行革大綱の部分であり、策定当時の記載である。時系列の修正が必要な箇所については、検討させていただく。                                                                                                                       |
| 会 長 | 7 P 「社会情勢」を現在は「経済社会情勢」と表現することが多い。<br>9 P 「ボランティア」は、個人を指すものも含まれるため、「ボランティア組織」としたほうがよい。「超高齢者社会」ばかりでなく、「少子化」の表現を加え、「少子高齢社会」にしたほうがよい。                                        |

|     |                                                                                                                                                                                   |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委 員 | これまでの文章で「です。」調で表記しているため、8 P「図っていきます。」を「図ります。」に、9 P「求められてきています。」を「求められています。」に、11 P「行っています。」を「行います。」との表現に直したほうがよい。                                                                  |
| 会 長 | 続いて、行政改革後期アクションプラン（素案）について、1 市民と行政との協働体制の確立について、ご意見をお願いしたい。                                                                                                                       |
| 委 員 | 総括目標の順番に意味はあるのか。                                                                                                                                                                  |
| 事務局 | 行政改革の基本方針に合わせて表記したい。                                                                                                                                                              |
| 委 員 | 現状数値は、いつの時点を捉えているのか。                                                                                                                                                              |
| 事務局 | 平成27年度決算数値または現時点での数値である。時点表記をする予定である。                                                                                                                                             |
| 委 員 | 様々な進行表記があり、分かりづらい。                                                                                                                                                                |
| 事務局 | 前アクションプランからの課題である。用語を精査調整し、数種類で表記できるよう考えている。                                                                                                                                      |
| 委 員 | アクションプランの表現方法を統一したほうがよい。策定の趣旨の中で「具体的な取組み」が新たに設定されたことから、表記したほうがよい。                                                                                                                 |
| 委 員 | 目標の数字は達成可能な数字を挙げているのか。                                                                                                                                                            |
| 事務局 | 所管課に照会し、根拠となる数字を出している。また、推進等の表現については、庁内会議で、できる限り数値化した目標を掲げるようお願いしたところである。                                                                                                         |
| 委 員 | 後期総合振興計画と合わせている項目の目標値については、変更は可能なのか。                                                                                                                                              |
| 事務局 | 進行管理にも関わることになるが、行政改革アクションプランは、市の行政改革推進本部会議にて、目標に係る進行管理をしている。総合振興計画は、審議会にて目標値等に関する進行管理を行っており、数値目標の変更は難しい面もある。他方、まち・ひと・しごと創生総合戦略では、数値目標含め内容を都度見直すことが可能となっているなど、計画ごとに数値の取り扱いが変わっている。 |
| 委 員 | 現在、総合振興計画を策定中とのことであるが、本会議の意見によって、アクションプランの数値目標の変更と合わせて、総合振興計画の数値目標の変更も可能であるのか。                                                                                                    |
| 事務局 | 事務的に間に合う範囲であれば、調整することも可能である。                                                                                                                                                      |
| 委 員 | 総合振興計画のアクションプランの達成度について、平成33年度100%は難しいのではないのか。                                                                                                                                    |

|     |                                                                                                        |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局 | できるだけ、努力したいとの表現であるが、後期アクションプランの策定内容等により、検討していきたい。                                                      |
| 委 員 | No.1 4 未利用地の利用問題や小中学校の統合問題と空き教室問題を財政の面から真剣に考えてもらいたい。                                                   |
| 委 員 | No.1 数値目標等の「産・学・官連携協定件数」について、どのようなことが連携されているのか分かりづらい。例があるとよい。                                          |
| 委 員 | No.4 数値目標等の「市民活動団体との協働事業数」において、事業数ではなく、参加人数は分かるのか。                                                     |
| 事務局 | 各部署ごとでの把握はしていると思われるが、市民生活課で全体数を把握しているのか確認はしていない。次回報告する。                                                |
| 会 長 | No.2 「シティプロモーションの推進」、住み心地の良さを広くアピールする点において、子育ての観点からや自然環境の良さをPRしていただきたい。また、著名人の観光大使の任命をしていくなど進めていただきたい。 |
| 委 員 | オープンデータ公表数の2件とは、市のHPでのデータ数なのか。                                                                         |
| 事務局 | 県で管理するHPオープンデータの公表数である。目標値は先進自治体のデータ数を参照し設定している。                                                       |
| 委 員 | 行政の「見える化」として、総括目標として挙げているのに2項目しか設定されていない。他の数値目標等を考えていただきたい。                                            |
| 会 長 | 続いて、2 効率的な自治体運営について、ご意見をお願いしたい。                                                                        |
| 委 員 | 各計画の策定とあるが、平成33年度までに策定するということか。                                                                        |
| 事務局 | 各計画ごとに様々な要素が含まれるが、5年間の間に実施しようとするものである。                                                                 |
| 委 員 | No.1 3 数値目標等「施設カルテの整備」は進捗具合を数値化することができるのではないかな。                                                        |
| 事務局 | 数値化できるものはしていく。                                                                                         |
| 委 員 | No.1 5 数値目標「まちづくり応援寄附金額」では、シティプロモーションの項目では、件数であり、歳入確保の推進では、金額の表記である。同じものではないのか。                        |
| 事務局 | 同じものであるが、性質の違いにより、表記方法を変えている。                                                                          |
| 委 員 | No.1 5 受益者負担の適正化については、目標金額の予測はできるのではないかな。                                                              |
| 事務局 | 施設の利用料ばかりでなく、証明書発行の手数料等もあり分野が広いため、目標金額の設定は難しい。                                                         |
| 委 員 | No.1 5 総括目標である「経常収支比率」を上げるのであれば、「財政調整基金」も上げるべきではないかな。                                                  |
| 事務局 | 総括的な目標であるため、個別の数値目標として挙げるか否かは検討させていただく。                                                                |

|     |                                                                                                                 |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委 員 | No.1 7 数値目標等「市税徴収率」93.2%で県内市順位で下位7位であるが、目標数値では県内順位何位を目指すということなのか。                                               |
| 事務局 | 納税課と順位まで目標設定できるか協議する。                                                                                           |
| 会 長 | 続いて、3 市民満足度の向上について、ご意見をお願いしたい。                                                                                  |
| 委 員 | No.2 1 「広報・広聴の充実」における市民意識調査の実施について、満足度の向上の項目はあるのか。                                                              |
| 事務局 | 細かい項目とした調査であるため、はっきりとした満足度の向上としての項目は設けていない。                                                                     |
| 委 員 | No.2 2 「個人番号カードの利活用」について、市としてコンビニ証明書のほかに、具体的な導入の予定はあるのか。                                                        |
| 事務局 | 研究している段階である。                                                                                                    |
| 委 員 | No.2 4 「窓口サービスの向上」について、「接遇の改善」とあるが、改善と表現する必要があるのか。市職員の対応はよくなっており、違和感がある。総合窓口化の記載は行わないのか。                        |
| 事務局 | 総合窓口は過去に行ったが、庁舎の構造的な問題等もあり効率的によくなかった。一方で、総合窓口化をして、民間委託に耐えられるよう仕事の仕分けをしておきたい考えもあるが、市としては現在の仕組みの中で連携していくことを考えている。 |
| 委 員 | 鶴ヶ島市の例もあるので、慎重に考えていただきたい。                                                                                       |
| 委 員 | No.1 9 「広域連携の推進」について、現在斎場の関係で連携が進められているようだが、この項目に挙げたほうがいいのか。                                                    |
| 委 員 | 環境政策として、公共施設での太陽光発電はどのように考えているのか。                                                                               |
| 事務局 | 現状では、電気料金の買取価格の下落により、公共施設に設置していく考えはない。                                                                          |
| 委 員 | 現在の東京都豊洲で問題となっている事案について、どこか表現できる部分はないのか。                                                                        |
| 事務局 | 行政の透明性や見える化の部分で補筆できるか検討させていただく。                                                                                 |
| 会 長 | 福祉関係を行革の分野に加えることはできないのか。例えば地域包括支援システムなどだろうか。                                                                    |
| 委 員 | 各関係課では、様々な目標を設定して業務が行われていると思うが、もっと多くの数値目標があるのではないか。                                                             |

|     |                                                                                                              |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局 | アクションプランは、行政改革の視点での経費の削減や行政の効率化の分野に特化したものから挙げたものである。<br>各部署においては、総合振興計画に基づいた分野別計画があり、その中で数値目標等を捉えて事業を実施している。 |
| 会 長 | 様々なご意見に感謝いたします。(2)その他について、事務局から説明をお願いします。                                                                    |
| 事務局 | (次回開催日程の説明)<br>1 1 月 4 日 午後 1 時 3 0 分                                                                        |
| 会 長 | 本日の審議事項が全て終了しました。皆様のご協力により円滑に進行できましたことに感謝申し上げます。                                                             |
|     | (閉会 午後 4 時 0 0 分)                                                                                            |